



12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



このコーナーで紹介させて頂いて、残すところ後6つの目標となりました!少しでも理解して頂ければ幸いです♪今回は12個目の目標「つくる責任 つかう責任」と13個目の「気候変動に具体的な対策を」についてのJAの取り組みを紹介します☆

⑫持続可能な生産消費形態を確保する

⑬気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる



コロナ禍で影響を受けた 農畜産物の消費拡大運動

コロナ禍で影響を受けた農畜産物の消費拡大運動を、次々に実施しています。菊陽町にあるJAアンテナショップの「まんまキッチン」を拠点に、黒毛和牛、メロン、スイカ、乳製品などの販売を支援しています。



茶の消費が低迷したときは、菊池郡市の小中学生に茶葉を贈ったり、お茶教室を開いたりしました。花の消費が低迷したときには「ホワイトデーに花を贈りましょう」と銘打ち、JA花卉部会の生産する花を花束にして販売したりしました。



J A 菊池 B C P (事業継続計画)

JA菊池では2017年「JA菊池BCP(事業継続計画・業務継続計画)」を作成しています。全職員で、熊本地震と同様の状況が起きたことを想定し、危機的状況の業務継続のためにすべきことを協議。各事業所では「コロナ禍の中、どう行動すべきか」なども検討しました。この時の協議は、その後の事業所や販売店舗のコロナ対策に繋がっています。



環境にやさしい 「えこめ牛」



「えこめ牛」は、国内で飼料用穀物を生産することにより、輸入に伴うCO²排出量の削減につながっています♪(いぶき9月号・SDGs⑰で詳しく説明しています)

3010運動を取り組んでいます!

3010(さんまるいちまる)運動は、飲食店での会食・宴会などで、食事始めの30分間と終了前の10分間は自分の席に戻り、目の前の料理を食べて「食べ残しを減らしましょう」という運動です。食品ロスをなくす取り組みとして行っています。



地域になくしてはならないJAを目指します